

「日印水素ワークショップ」の開催のおしらせ

日本エネルギー経済研究所（IEEJ）では、経済産業省の委託事業として、新興国や資源国を対象に、新エネルギー・再生可能エネルギーに関する研修やワークショップを実施しています。その一環として、水素・アンモニアなどのクリーンエネルギーをテーマに、日本とインドの両国が持つ技術・制度・運用面での知見を共有し、協力関係をより深めるため、インド・エネルギー・資源研究所（TERI）との共催で「日印水素ワークショップ 2025」を開催いたします。

インドは、2070 年のカーボンニュートラルと 2047 年のエネルギー自給に向け、再生可能エネルギー導入と水素政策を加速しています。2030 年までに年間 500 万トン規模のグリーン水素生産体制を目指し、水素ハブ整備やインセンティブ制度が進められ、国家水素ミッションの下で事業化に向けたプロジェクトも入札段階に進んでいます。さらに 2025 年 8 月、日印両政府がクリーン水素・アンモニア協力に関する共同宣言に署名し、研究開発からサプライチェーン構築まで包括的な連携が確認されています。

こうした状況を踏まえ、本ワークショップでは、港湾の水素・アンモニア受入インフラ、運輸分野でのモビリティ、製鉄など産業部門の水素利用など、日本企業の強みとインド側のニーズを踏まえた具体的なテーマについて議論を行います。併せて、両国の政策と連動した実務的な協力の強化、インドにおけるビジネス機会の創出、そして将来のプロジェクト形成につながる交流の場を提供いたします。

●ワークショップ開催概要

1)日時： 2026年1月30日（金）

全体会合 9：30～12：00（ランチ付き）

分科会 A. 産業用プロセス 13：30～16：00

B. モビリティ・港湾 13：30～16：00

※全体会合は 90 名、分科会は 30 名程度の参加が可能です

2)場所：India Habitat Centre

Lodhi Road New Delhi - 110003

4)実施形態：対面式（使用言語は英語）

5)共催：日本エネルギー経済研究所（IEEJ）/インド・エネルギー・資源研究所（TERI）

●アジェンダ

月日時	内容	講演者
1/30(金) 9:30-12:00	ワークショップ「日印水素実装に向けた二国間協力」 第1部:全体会(政策・制度・支援) ■基調講演 印：National Hydrogen Mission 進捗/州別展開 日：水素基本戦略・GX 実行計画・国際協力方針など ■支援スキーム 日本の支援スキーム紹介	MNRE METI NEDO, JOGMEC, JBIC

13:30- 16:30	第2部:分科会（専門分野別ラウンドテーブル） <u>分科会 A:産業用プロセス</u> ■インド: <ul style="list-style-type: none"> ・ 各産業（鉄鋼・石油精製・肥料製造）における水素利用計画 ■日本: <ul style="list-style-type: none"> ・ 製鉄会社、石油精製会社による水素の利活用と水素製造 	FAI, AM Green, Jidal Steel Kanadevia, KOBELCO, Idemitsu
13:30- 16:30	分科会 B: モビリティ・港湾における水素利用 ■インド: <ul style="list-style-type: none"> ・ インドにおける水素モビリティ政策の現状と実際の進捗 ・ 水素インフラ ■日本: <ul style="list-style-type: none"> ・ バンカリング、港湾での水素利活用 	MNRE, ARAI, NTPC-Hydrogen, TATA Motos, V.O. Chidambaranar Port Authority, Adani Ports ITOCHU, TOYOTA Tsusho
16:30- 18:30	第3部 Business Networking	

以下の URL または QR コードからお申し込みください。

なお、本ワークショップの参加人数は、全体会合が約 90 名、分科会が約 30 名を予定しております。参加いただける方には、後日事務局より確認のメールをお送りします。メールが届かなかった場合はご参加いただけませんので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます

<https://forms.gle/pEySANQpMAvmfx5a6>

